

既存港湾施設（1号上屋）活用における民間活力導入に向けた公募型サウンディング調査 質問への回答について

1. 実施期間

令和3年10月18日（月）～令和3年11月29日（月）

2. 質問事項と町の回答

番号	質問事項	町の回答												
1	「ポートパーク」「海釣施設」「全天候型施設・広場」「1号上屋」という4つの新規整備施設は全体として事業者を公募されますか。それとも個別に事業者を公募されますか。	現時点では定めておりません。 個別対話の際のご意見をもとに検討する予定です。												
2	仮に4つの新規整備施設について個別に事業者を公募される場合、「ポートパーク」「海釣施設」の2つの施設を同じ事業者が運営することは可能ですか。	現時点では定めておりません。 個別対話の際のご意見をもとに検討する予定です。												
3	芦屋港活性化エリアと芦屋海水浴場との間に、公道を通ることなく歩いて行き来できるような道路を設置される予定はありますか。	既存緑地帯を活用して、芦屋海浜公園との動線を確保する計画ですが、詳細は決まっていません。												
4	芦屋海水浴場や芦屋海浜公園エリアの年間利用者数（できれば2019年以前の利用者数）を教えてください。	各施設の年間利用者数は、次のとおりです。 <table border="1" data-bbox="1122 1050 1845 1254"> <thead> <tr> <th></th> <th>芦屋海水浴場</th> <th>芦屋海浜公園</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2017年</td> <td>34,000人</td> <td>132,330人</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>35,000人</td> <td>142,780人</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>35,000人</td> <td>137,920人</td> </tr> </tbody> </table>		芦屋海水浴場	芦屋海浜公園	2017年	34,000人	132,330人	2018年	35,000人	142,780人	2019年	35,000人	137,920人
	芦屋海水浴場	芦屋海浜公園												
2017年	34,000人	132,330人												
2018年	35,000人	142,780人												
2019年	35,000人	137,920人												

番号	質問事項	町の回答															
5	ボートパーク（係留施設）にクラブハウス（管理棟）を設置されるとした場合、クラブハウスにはどのようなスペースを作られる予定ですか。例えば、シャワーや会議室、休憩室などがありますか。海釣施設の受付などもクラブハウスで行われますか。	管理棟に導入する機能やレイアウト等施設の詳細は、福岡県による実施設計にて検討することになります。現段階では、具体的な内容は決定しておりませんが、シャワー室や会議室、海釣施設の管理及び受付等を設けることを計画しています。															
6	指定管理期間について、一般的には5年程度が多いように思いますが、今回は10年程度の長期期間になる可能性はありますか。想定されている期間があれば教えてください。	指定管理期間については、5年を基本に検討していますが、行政及び事業者にとって最も効果的で、利用者サービスの質の向上が図れる妥当な期間について、対話させていただきたいと考えています。															
7	海浜公園の利用者数は微増しているなか、レジャープールアクアシアンの利用者が急増している。プール利用者数が増えた原因は何か。分かる範囲で教えてください。	コンビニエンスストアでレジャープールアクアシアンのチケット販売を始めたことが一因ととらえています。県内のレジャープールの中では、手頃な料金設定となっていることも、利用者増に結びついたものととらえています。															
8	海浜公園やレジャープールアクアシアンの6月から9月にかけての来訪者はどの程度かお教えてください。また、現在の運営状況を教えてください。	<p>各施設の利用者は次のとおりです。なお、レジャープールアクアシアンは、令和2年度営業休止のため、令和1年度の利用者数を回答します。</p> <p>また、海浜公園及びレジャープールアクアシアンについては、指定管理者制度により、芦屋町観光協会が運営しています。</p> <table border="1" data-bbox="1048 1034 1921 1329"> <thead> <tr> <th></th> <th>海浜公園 (令和2年度)</th> <th>レジャープールアクアシアン (令和1年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月</td> <td>10,530人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>7,480人</td> <td>20,897人</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>15,940人</td> <td>54,834人</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>10,950人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		海浜公園 (令和2年度)	レジャープールアクアシアン (令和1年度)	6月	10,530人	—	7月	7,480人	20,897人	8月	15,940人	54,834人	9月	10,950人	—
	海浜公園 (令和2年度)	レジャープールアクアシアン (令和1年度)															
6月	10,530人	—															
7月	7,480人	20,897人															
8月	15,940人	54,834人															
9月	10,950人	—															

番号	質問事項	町の回答																																							
9	11月21日に直方市のサイクリイベントが開催されたが、平常時に芦屋町内をどの程度のサイクリストが通過しているか分かれば教えてください。	現状では芦屋町内を通過しているサイクリストの数は、具体的に把握できていません。現在、サイクリストの実態やニーズを把握するための観光動向調査（アンケート調査）を行っており、この調査結果が令和4年1月頃にまとまる予定です。結果は、町ホームページにて公表する予定です。																																							
10	ファミリーフィッシングの参加者数について、お教えてください。	ファミリーフィッシングの参加者数は次のとおりです。 <table border="1" data-bbox="1048 555 2002 1002"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">釣り体験教室・稚魚放流 (芦屋港)</th> <th colspan="2">ニジマス釣り体験教室 (レジャープールアクアシアン)</th> </tr> <tr> <th>定員</th> <th>参加者数</th> <th>定員</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2014年</td> <td>50組</td> <td>50組198人</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2015年</td> <td>50組</td> <td>23組 66人</td> <td>500人</td> <td>510人</td> </tr> <tr> <td>2016年</td> <td>50組</td> <td>37組 56人</td> <td>1,000人</td> <td>1,001人</td> </tr> <tr> <td>2017年</td> <td>50組</td> <td>30組 80人</td> <td>1,300人</td> <td>1,289人</td> </tr> <tr> <td>2018年</td> <td>50組</td> <td>72組103人</td> <td>1,300人</td> <td>1,295人</td> </tr> <tr> <td>2019年</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1,000人</td> <td>1,042人</td> </tr> </tbody> </table>		釣り体験教室・稚魚放流 (芦屋港)		ニジマス釣り体験教室 (レジャープールアクアシアン)		定員	参加者数	定員	参加者数	2014年	50組	50組198人	—	—	2015年	50組	23組 66人	500人	510人	2016年	50組	37組 56人	1,000人	1,001人	2017年	50組	30組 80人	1,300人	1,289人	2018年	50組	72組103人	1,300人	1,295人	2019年	—	—	1,000人	1,042人
	釣り体験教室・稚魚放流 (芦屋港)			ニジマス釣り体験教室 (レジャープールアクアシアン)																																					
	定員	参加者数	定員	参加者数																																					
2014年	50組	50組198人	—	—																																					
2015年	50組	23組 66人	500人	510人																																					
2016年	50組	37組 56人	1,000人	1,001人																																					
2017年	50組	30組 80人	1,300人	1,289人																																					
2018年	50組	72組103人	1,300人	1,295人																																					
2019年	—	—	1,000人	1,042人																																					
11	既存港湾施設（1号上屋）南側の道路の交通量が分かるのであれば、教えてください。	具体的な数値は把握できていません。																																							
12	芦屋港周辺を訪れる人は、マイカー利用者が多いですか。 また、最寄り駅からシャトルバスを運行する等の計画は今後検討されますか。	マイカー利用が多いと考えます。芦屋町とJR遠賀川駅の区間で運行しているタウンバスは、芦屋町が運行事業者ですので、タウンバスの活用については検討の必要があると考えています。																																							

番号	質問事項	町の回答
13	既存港湾施設（1号上屋）を現在利用している事業者は、1号上屋の施設利活用が決定してから移転するのか、それとも現時点で移転することが決定しているのか教えてください。	芦屋港活性化エリア内の野積み場に仮移転することが決定しており、福岡県が移転に向けた整備や事業者との交渉を進めています。
14	既存港湾施設（1号上屋）は、福岡県が所有している施設を芦屋町に貸すという理解でよろしいでしょうか。また、芦屋港活性化エリア内の駐車場やボードウォークも同様の考えでしょうか。	芦屋港活性化エリアについては、芦屋町が活用することで、福岡県と協定を締結しており、基本的にはそのように理解されて結構です。ただし、今後、地方自治法に基づく手続きを経て決定されるため、上屋の取扱や使用料など詳細は、決定していません。
15	構造計算書等の資料はありますか。	あります。
16	既存港湾施設（1号上屋）は、部分貸し、全体貸し、どちらでも良いと考えていますか。	基本的に全体貸しを想定していますが、様々な活用形態を検討するため、個別対話の際にご提案ください。
17	上下水道は整備されていますか。 また、ガスは都市ガスですか。	港湾エリアへの上下水道整備は、芦屋町（※1）にて行います。1号上屋からの支線は、施設整備者負担となります。 なお、ガスはプロパンガスとなります。 （※1）上水道事業は、北九州市に事業統合しています。
18	全天候型施設を海側に配置するよう計画しなかった理由があれば教えてください。	各施設の特性や運用面、土地利用形態を考慮したものです。
19	ボートパークは福岡県が整備するとの説明ですが、係留してもらうためのセールスなどの取り組みは行っていますか。	ボートパークの利用需要については、業界団体にも加わって頂き、マーケティング調査など詳細に検討を重ねてきております。 セールス等は、運営事業者が決まってからの予定ですが、ボートパークの開業時期に関する問い合わせは多くあっております。

番号	質問事項	町の回答
20	事業方式と事業期間について、現時点で考えがあれば教えてください。	既存港湾施設（1号上屋）について、現時点では、PFIの活用を探っていますが、公募型サウンディング調査において意見を伺いながら検討するものです。事業期間については、令和7年春の開業を目指しています。
21	全天候型施設と、既存港湾施設（1号上屋）の管理運営業務は、個別で発注する考えですか。それとも2施設の管理運営業務を一括して発注する考えか、教えてください。 考え方については、季節によって集客に波があるレジャープールアクアシアんと、通年での集客が見込める全天候型施設をまとめて管理運営（ピークシフト）する考えがあっても良いと思います。	現時点では、定まっていません。 今回、参加事業者からそのような意向があれば、柔軟に検討していきたいと考えています。このため、そういった意向を含め、広くご意見をいただきたいと考えております。 なお、芦屋港エリアでは、芦屋海浜公園を含んだ芦屋港周辺の一体的な管理運営やエリアマネジメントを担う法人組織設立を目指しており、これによる施設運営も視野に入れていきます。ご指摘のピークシフトも考慮したものです。
22	全天候型施設の設計業務は、現在既に発注されていますか。	現在、施設規模や導入機能の検討を行っており、来年度に設計業務を発注する計画です。
23	広場設計業務は、単体で発注されますか。または、全天候型施設設計業務とあわせて発注される考えですか。	現在、検討中です。
24	第1回現地見学会・説明会の参加者数を教えてください。	2社となります。